



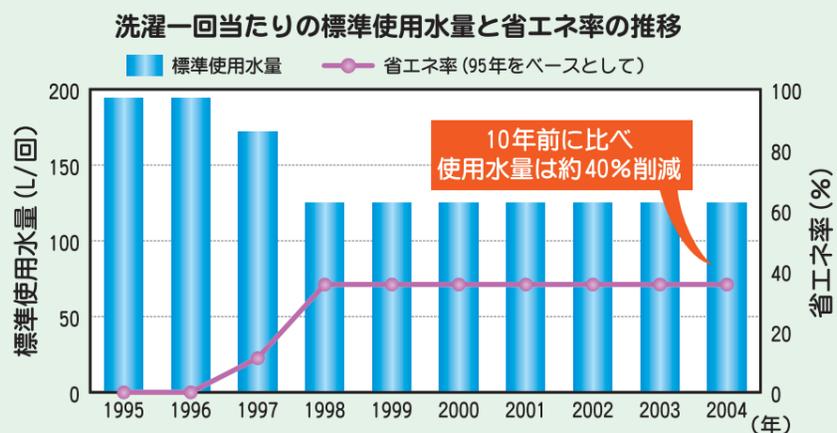
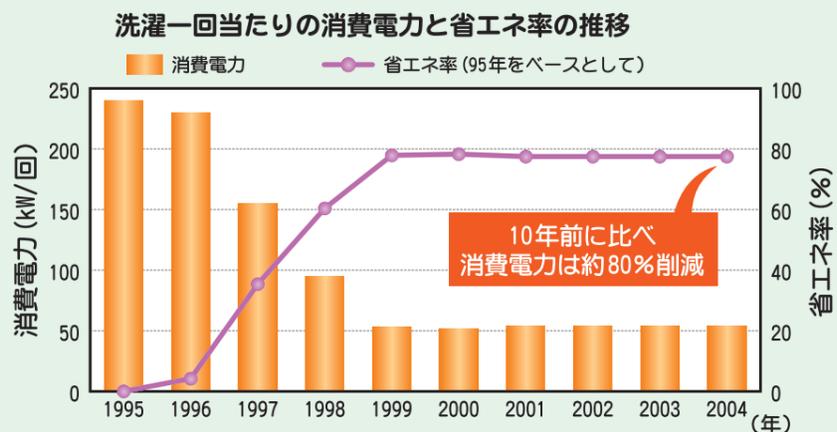
洗濯機

省エネルギーの推移

インバータ制御技術や節水タイプの洗濯槽の採用で、10年前に比べ消費電力は80%近く、使用水量は40%近くまで削減されています。

下の図は、洗濯脱水容量8kgのA社代表機種について、消費電力、使用水量の推移を示したものです。

なお、洗濯機は省エネラベル対象機種になっておりません。



データ出典：(財)省エネルギーセンター

インバータ制御
モータのトルク(力)や回転数をコントロールできる為、負荷に合わせて最適な洗濯制御ができ、また、モータの駆動効率も良くなるため使用電力の無駄が少なく、効率的な運転が行えます。

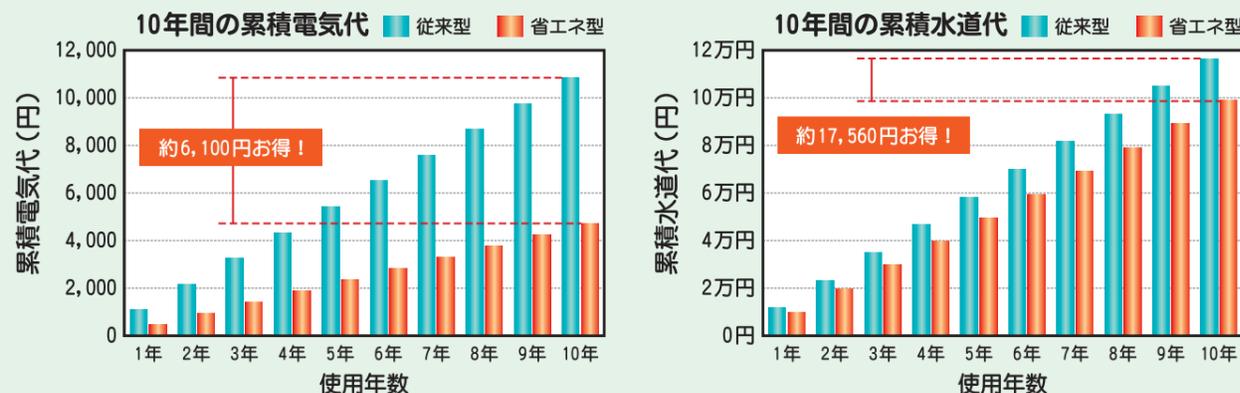
使用水量の削減
効率的な「シャワーすすぎ」の採用や軽い汚れ衣類のための「洗剤節約コース」などですすぎの使用水量を大幅に削減しています。

待機時消費電力
運転終了後や、電源投入後に所定時間内に操作されなかった場合、電源が自動的に切れる機能を採用し、未使用時の待機電力を削減しています。機種によっては待機時消費電力がゼロのものもあります。

省エネ効果の高い洗濯機はこんなにもお得

省エネ型の洗濯機を10年使い続けると、従来型に比べ電気代は約6,100円お得となります。また、水道代は約17,560円節約できます。

洗濯脱水容量8kgのタイプで年間消費電力49.3kWh/年の従来型と21.5kWh/年の省エネ型の電気代と水道代の比較



電気代:22円/kWh、水道代(下水道料金含む):228円/m³と想定 (社)日本電機工業会

従来型洗濯機と省エネ型洗濯機の比較

(条件は上記と同様)

| | 年間消費電力 (kWh/年) | 10年間の電気代 (円) | CO ₂ 排出量 (kg) |
|--------|----------------|--------------|--------------------------|
| ① 従来型 | 49.3 | 10,846 | 186 |
| ② 省エネ型 | 21.5 | 4,730 | 81 |
| 差(②-①) | -27.8 | -6,116 | -105 |

・各消費電力は上記と同様
・CO₂排出量(0.378kg/kWh:事業者からの温室効果ガス排出算定方法ガイドライン、平成15年7月、環境省)
・樹木CO₂吸収量(13.9kg-CO₂/本・年:50年もの杉、樹高22m、直径26cmとして:地球温暖化防止のための緑の吸収源対策、環境省/林野庁より)

50年もの杉に換算すると、省エネ型機種一台のCO₂削減量は約1本分に匹敵



商品を奨める上でここをよく押えましょう!

- 家族構成やライフスタイル(まとめ洗いをするなど)など使用条件をよく把握しましょう。
- 洗濯機は多くの水を使う商品であり、使用条件を考慮して消費電力とともに使用水量と洗剤量の少ない商品を奨めましょう。
- また、待機時消費電力の少ないものや風呂水ポンプ、水位センサーなど省エネ機能が付いた商品を奨めましょう。
- 今、使っている製品があれば、最新機種と比べてどのくらい省エネで、結果的に電気代がどの程度安くなるかを説明しましょう(上図のグラフを活用して)。



省エネ効果を発揮させるため上手な使い方を教えましょう!

- 洗濯物はできるだけまとめて洗いましょう。定格容量以下であれば、一度に洗う量が多いほど電気や水の節約となります。定格容量(6kg)の4割負荷(2.4kg)で毎日洗濯する場合と8割(4.8kg)で1日おきに洗濯する場合、
→ 年間で電気5.6kWhの省エネとなり、電気代で約120円の節約となります。
年間で水15.3m³の節水、水道代で約2,815円の節約となります。
- 風呂の残り湯を洗濯に使いましょう。6.0kg容量の洗濯機で1回の洗濯に風呂の残り湯40Lを利用する場合、
→ 年間で水14.6m³の節約となり、水道代で約2,686円の節約となります。
- 洗濯物を入れすぎると、衣類の回りが悪くなり洗浄力が落ちてしまいます。
- 洗剤は汚れに応じて控えめに使用しましょう。少なすぎると洗浄力が落ちてしまい、多すぎても洗浄力は上がりません。かえって溶け残りの原因になり、電気も水も無駄になります。